



北海道聖書学院

2020年度 秋の夜間聖書講座ご案内



主の御名を賛美いたします。
昨年春に引き続いて、吉田浩二先生が「旧約通論」の2回目を講義して下さいます。今回は、イスラエルの歴史の難解な箇所でもあり、興味深い箇所でもありますが、講師が読み方の“ヒント”を授けて下さいます。これを機会に皆さんも参加してみませんか。多くの方が受講されることをお勧めいたします。

2020年8月
北海道聖書学院院長 松元 潤

***主 題 「旧約通論その2～歴史観をもって歴史を読む」**

***講 師 吉田 浩二（よしだ こうじ） 師**

***プロフィール**

石川県金沢市生れ。61歳。JECA 厚別福音キリスト教会牧師。
最近ハマっていることは、新型コロナ関連の報道で的外れなコメントを聞いて独り言つこと、礼拝賛美のキーを下げた楽譜を作るためにピアノをつま弾くこと。

***講師からのメッセージ**

コロナ禍で先行きの見えない不安に苛まれている方も少なくないのではないのでしょうか。歴史観を持った視点でものを見ると、世界は違って見えてくるかも。

- 神様は愛のお方のはずなのに、どうして聖絶なんて命じるの？
- 主にダビデ王の歴史が書かれてるのに、どうして「サムエル記」？
- 列王記で王国の歴史は終わったのに、何で「歴代誌」が必要？
- エズラは異邦人の妻子を追い出せと命じたけど、未信者の夫とは離婚した方がいいの？

旧約の歴史を読んでいて、こんな疑問を感じたことはありませんか。今回は、そんなことを考えながら、ヨシュア記からエステル記までの歴史書を紐解いていきましょう。

昨年度の第1回シリーズを受講された方はもちろんですが、受講されていない方も大丈夫です。歴史観を持って聖書を読みたいと思われる方は、ぜひチャレンジしてください。

*スケジュールと内容（全10回の学びです）

1	8月28日	申命記的歴史の始まりヨシュア記	【ヨシュア記】
2	9月4日	士師の時代 聖絶の理解	【士師記・ルツ記】
3	9月11日	サムエルとは何者か サウルの失敗	【サムエル記第一】
4	9月18日	ダビデの功罪と盛衰	【サムエル記第二】
5	9月25日	ソロモンの功罪 王朝の分裂	【列王記第一】
6	10月2日	南北王朝の盛衰	【列王記第二】
7	10月9日	歴代誌的歴史 その特徴	【歴代誌第一】
8	10月23日	歴代誌的にしか書いてないこと	【歴代誌第二】
9	10月30日	世界の覇権国家と帰還の時代	【エズラ記・ネヘミヤ記】
10	11月6日	エズラの離婚政策 ユダヤ民族主義とエステル記	【エステル記】

*期 日 2020年8月28日（金）～11月6日（金）

毎 金曜日午後7時～8時40分（全10回）

*場 所 北海道聖書学院礼拝室 〒003-0831 札幌市白石区北郷1条3丁目1番61号

*受講料 10,000円（教材費を含む。2回分納可）

（部分参加割引はありません。学院賛助者は20%割引致します。）

*受講資格 18歳以上のキリスト者

*申込期限 2020年8月21日（火）（教材の準備のため期限を早目にしています。）

*申込方法 下記申込欄に記入して郵送またはFAX（011-871-7899）でお願いします。
受講料は講座の初日に申し受けます。（電話 011-871-7892）

2020年度 秋の夜間聖書講座受講申込書

ご氏名（ふりがな） _____ 性別 男 女

ご住所 〒 _____

ご連絡先／お電話 _____ 受講料 一括 分納

所属教会 _____